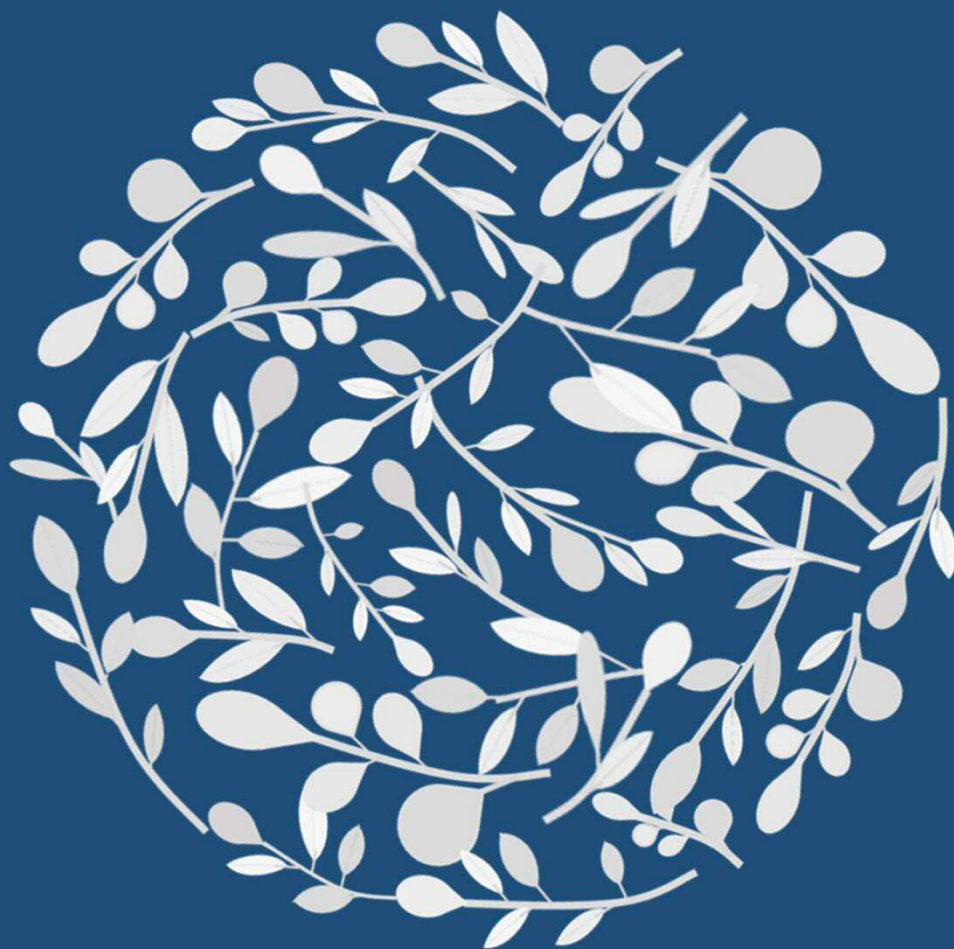


川崎市子ども・若者応援基金

令和2年度 of 取組紹介



ご寄附
ありがとうございます
ございます

令和2年度は、
多くの個人、企業、団体の応援・後押しにより、
40,000,000円を積み立てることができました。

基金残高 (令和4年2月1日時点) 1億6711万7673円

※積立額には、川崎市競輪事業及び神奈川県川崎競馬組合競馬事業の収益も含まれます。



応援・後押しを受けた子どもたちの声をぜひ御覧ください。

未来につながる、子ども・若者の応援・後押し

置かれた環境によって
学習機会に差があるのは、
何か違う気がする。



色々とチャレンジして、
成功も失敗も、
体験したらいいと思う。



機会格差の解消

挑戦の後押し

夢や目標を持つ川崎の子ども・若者の応援

令和2年度は「機会格差をなくす取組」と「子ども・若者の挑戦の後押し」の2つの柱で3つの応援を行い、合計31,201,536円を活用しました。



機会格差をなくす取組

1 社会的養護奨学給付金

令和2年度実績 決算額：11,950,000円 事業対象者：20人



里親家庭や児童養護施設等の退所者等を対象に、大学等進学時の奨学金や資格取得に要する経費に対し、給付金を支給しました。

大学等進学奨学金	大学等の学資に充てるための給付金 (国公立大学等：月額3万円、私立大学等：月額5万円)
資格取得給付金	一般教育訓練講座の受講経費に対する給付金 (対象講座の終了に必要な入学料、受講料、教材費)

私は4月に専門学校に進学しました。給付金をもらい学費にあてることでとても助かっています。これを励みに保育士資格の取得を目指します。(専門学校1年生)

私はデザインやアートに興味があり、給付金のおかげで夢を追う事が出来ます。ありがとうございます。(専門学校1年生)

私は現在、私立の大学に通っており、福祉の勉強をしています。給付金をもらうことで学費の負担が減り、学業に専念することができています。(大学1年生)

私は今、大学で栄養士になるため勉強しています。給付金をもらい学費の面でとても助かっています。ありがとうございます。(大学1年生)

私はグラフィックデザインの分野に興味があり、専門学校へと進学しました。この給付金を受けられた事で金銭面での負担が軽減され、自分がチャレンジしたかった事が出来るようになりました。ありがとうございます。(専門学校1年生)

奨学給付金のおかげで養成校に通うことができます。保育士を目指し頑張ります。(大学2年生)

※学年はコメント提出時のものです。



機会格差をなくす取組

② 学習支援費

令和2年度実績 決算額：10,647,536円 事業対象者：31人



里親家庭や児童養護施設等の児童に対して、児童の個性に応じた学習支援を行うための費用を支給しました。

地域人材・NPO法人等を活用	団体実施の学習支援を利用する場合や施設等に招いて学習支援を行う場合の経費
教材等を活用	里親や施設で、市販の教材等を活用して学習支援を行う場合の経費
塾及び家庭教師	塾や家庭教師を利用する場合の経費

がくしゅうしえんをしたら、わからないベンキョウでもみんなについていけるようになりました。ベンキョウがわからなくても、かんたんにできるヒントをおしえてくれたり、やさしくせつしてくれるのであんしんします。がくしゅうしえんをしたことで、ベンキョウがよくわかりました。(小学3年生)

小学校3年生の時から塾に通い、国語と算数を教わっています。学校の授業も理解することができ、楽しく学習できています。(小学4年生)

僕は中学1年生の夏から、学習支援費を使わせて頂いて塾に通っています。今は、中学3年生なので受験勉強や、テスト対策、授業の予習を教わっています。英語検定に向けての勉強も見てもらいました。塾に行き、勉強がわかることで、自分で勉強する時間が増えました。将来は、世界一周してみたいです。学んだことを活かしながら、自分の目で世界を見たいです。(中学3年生)

「いちぶんのいち(教材)」をやることで学校の授業の復習をすることができました。その後テストの時に100点を取ることが多くなりました。予習をすることもできるし復習をすることができるので勉強が分かりやすく、よく進みます。(小学6年生)

6年生から通い始めて算数を教わっています。通い始めてからは学校の授業がより分かりやすくなり、通えてよかったと思います。(小学6年生)

私はこの学習支援費を使って塾に行かせていただいています。まだ通い始めて日が浅いですが、確実に力がついてきていると感じています。私は将来看護師になりたいと考えています。そのために一生懸命勉強しています。来年は受験生なので、第一志望校に合格するために継続していきたいです。(高校2年生)

私はこの学習支援費を使って塾に通わせて頂いていました。学力の向上だけでなく、自分の進路について詳しく相談する事が出来て、とても助かりました。(高校3年生)

私は現在高校3年生で栄養士の資格をとるため、希望する大学に合格する事を目指して受験勉強をしています。自分一人で勉強したり高校の先生に教えてもらうだけでは不安ですが、この支援費があることで塾に通うことが出来ています。来年、大学進学した際は給付型奨学金を活用して生活に役立たせて頂きます。(高校3年生)

③ Stanford e-Kawasaki

令和2年度実績 決算額：8,604,600円 事業対象者：20人（市立川崎・橘高校生徒）



スタンフォード大学の国際異文化教育プログラム（SPICE）と連携し、「多様性」と「アントレプレナーシップ（起業家精神）」をテーマに、高校生向けのプログラム「Stanford e-Kawasaki」を開講しました。約半年間、事前課題の提出、ゲストスピーカーによる講演、グループディスカッションを繰り返し、最後は自ら選んだ研究テーマのプレゼンテーションを行いました。なお、プログラムは、全て英語で実施しています。

受講を通して、英語の能力を磨けただけでなく、起業家精神やアメリカの文化、歴史など、多くのことを学ぶことができました。大変でしたが、参加できて本当に良かったです。（高校2年生）

改めて貴重な時間を過ごせたと実感しています。ここでの学びが私の人生を大きく変えてくれたからです。（高校2年生）

目からうろこの連続でした！スタンフォード大学の先生がいらっしゃることなどもあり、実際にアメリカの大学の授業を体験したかのように感じられました！参加できて良かったです！（高校2年生）

これまでの自分の視野の狭さに気づき、世界が広がりました。講師の方々のお話や仲間と活動した思い出は私の一生の宝物です。（高校2年生）

沢山のディスカッションやエッセイなどを通して世界が抱える課題や起業についてクラスメイトと共に自分の頭で考え、日本の高校ではできない実用的で関心に沿った学びを体験することができました。日本の高校でもこのような学習が出来るようになればいいと思います。（高校2年生）

英語が得意な人やネイティブの方々と英語でコミュニケーションをとったり自分の意見を発言したりと、貴重な経験ができて良かったです。（高校3年生）

このStanford e-Kawasakiを通して、アメリカと日本両国間の歴史、文化、経済、教育、多様性の享受などの違いなどを深く学ぶことができました。自分の意見を英語で表すことはとても難しかったけれど、様々な意見を交換することによって、新しい考え方を見つけることができとても楽しかったです。（高校2年生）



グループディスカッションの発表



演台に立っての自己紹介



修了証を手にしての記念撮影



市長から修了証の授与

アメリカにおける問題や考え方など、アメリカの言葉で学ぶことができ良かったです。今回学んだ多様な価値観への接し方を、今後の大学生活や夢へ役立てていきたいと思っています。(高校2年生)

講師の方々から、多様性とは何かという話を聞くだけでなく、一緒に受講している方との意見交換をすることができ、自分の考え方が変わりました。(高校2年生)

インターネットや本では知ることのないたくさんの方のことを学ぶことができました。受講前は「黒人」と呼ぶことは彼らを差別しているように感じていましたが、実際にお話を聞くと、彼らは自分たちの黒い肌に誇りを持っていることを知り、自分の認識が間違っていたことに気づきました。人と違うことを皆が誇りに思えること、そして皆がそれを尊重できることがこれからの社会に大切なことではないかと学びました。(高校2年生)

私は受講を通して、国際社会に対する自分の視野を広げることができました。最初は、全ての講義や課題を英語で行うことや、違う高校の生徒と意見交換をすることがとても不安でしたが、数を重ねるうちに積極的に英語で自分の意見を発言するまでに成長することができました。英語力の面だけでなく、様々な国際問題についてゲストスピーカーの方からの話を聞くことで、自分の今まで知らなかった世界を学び、講義内で行われるディスカッションで、自分とは違う意見を聞いて、より国際問題への理解を深めることができました。このような貴重な経験ができたことを本当に誇りに思っています！(高校3年生)

Stanford e-Kawasakiに参加し、英語の能力を向上させることはもちろん、世界で活躍する人々などのお話を伺い、視野を広げることができました。(高校3年生)

全て英語で講義も課題も1人でこなしていかなければならぬので大変でしたが、どれも自分の学びになると思います。特にスピーキングには自信がなかったのですが、話すことに前より“慣れる”ことができました。(高校2年生)

このプログラムを通して、自分の視野を広げ、またこれからの社会がどのように成長していくべきか、自分の中にビジョンを描くことができ、将来の希望を感じました。(高校2年生)

参加しようと声をかけられた時は不安でいっぱいでしたが、Stanford e-Kawasakiという貴重な経験をした今、英語力の面でも、人間力の面でも、とても成長できたと感じています。ですが、毎回のディスカッションや質疑応答の時間でもっと積極的に行動しておけばよかった、と後悔しています。これから参加される皆さんは、緊張しすぎず、間違えることを恐れず、自ら積極的に英語を話してより自分を磨いてほしいです！(高校3年生)

英語がよりできるように参加したが、それに加えて、多様性と起業家精神を様々なゲストスピーカーから学びました。たった半年間でこれからの社会に出て必要なスキルや思考を得ました。(高校2年生)

実際に外国で仕事をされている方々の話を聞き、起業や多様性について討論を重ねることで自分自身の視野を広げることができました。また、英語を実践的に学んだことは、大学での英語力向上に間違いなく役に立っていると感じました。これらの貴重な経験はなかなか出来ないため、この経験自体を誇らしく、ありがたく思います。(高校3年生)

※学年は受講時のものです。



閉講式での集合写真

川崎市子ども・若者応援基金 寄附のご案内



寄附のお手続き

クレジットカードによる納付

市内在住の方、市外在住で「川崎市子ども・若者応援基金」に使い道を希望される方は、川崎市ホームページ「川崎市ふるさと納税」からお手続きください。
※ホームページ内の「クレジットカードによる納付（外部リンク）」よりお進みください。なお、返品をご希望の場合、詳細な使い道の指定はできません。



クレジットカード以外による納付

●個人の方

「川崎市ふるさと応援寄附金申込書」に必要事項を記入し、選択メニューの「頑張る子ども・若者を応援する互助のまちづくりの推進」にチェックをして郵送、ファックスまたはEメールで送付してください。

●企業やその他団体の方

子ども未来局総務部企画課（044-200-1135）へご連絡ください。

→ 納付書がお手元に届きましたら、川崎市が指定する金融機関でお振り込みください。

指定金融機関一覧

横浜銀行、りそな銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、川崎信用金庫、三井住友銀行、神奈川銀行、静岡中央銀行、三井住友信託銀行、セレサ川崎農業協同組合、中央労働金庫、城南信用金庫、神奈川県医師信用組合、横浜幸銀信用組合、世田谷信用金庫、東日本銀行、芝信用金庫、さわやか信用金庫、きらぼし銀行、横浜信用金庫、みずほ信託銀行、ハナ信用組合、静岡銀行、群馬銀行、ゆうちょ銀行
※ ゆうちょ銀行での収納は、1都7県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨）に所在する店舗及び郵便局に限ります。



寄附金控除について

川崎市など地方自治体に対する寄附を行った場合には、その支出した寄附金のうち2千円を超える額について、個人住民税及び所得税の寄附金控除の適用を受けることができます。後日、確定申告の際に必要となりますので、受領書は大切に保管してください。

※ 寄附金控除を受けるには、領収書等の寄附金の受領を証明する書類に添えて、最寄りの税務署で所得税の確定申告等の手続きをしていただく必要があります。

詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

川崎市子ども・若者応援基金

検索



問合せ先：川崎市子ども未来局総務部企画課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-1135 メール：45kikaku@city.kawasaki.jp

令和4年3月発行